

創造・参加・実践
No.755

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL 06-6375-9869(代)
FAX 06-6373-4133

発行責任者 上村 良成
編集責任者 尾崎 裕介

JR連合第13回安全シンポジウム

原点に立ち返り、業務・労働環境の実情・変化に即した仕組みを構築する

労使が「人」の性質に向き合い 「安全」確立の取り組みを職場から創る

JR連合は、10月4日(金)、京都市内において、「JR連合 第13回安全シンポジウム」を開催し、JR連合各単組等から約250名が出席し、JR西労組・JR西日本連合に加盟する各単組からも約100名が出席した。

今年度は「原点に立ち返り、業務労働環境の実情変化に即した仕組みを構築する」労使が「人の性質に向き合い」「安全」確立の取り組みを職場から創る」をテーマに掲げ、JR産業界における安全の位置付けやあり方を考え、労働組合がチェック機能を実践し、安全確立に向けて邁進する決意を共有した。

冒頭、主催者を代表してJR連合萩山会長(JR西労組)が挨拶に立ち、「福知山線列車事故から来年で20年。あらゆる場面で不断に安全最優先の取り組みを続けることは容易ではない。日々自問自答することが必要」と述べた後、「JR九州高速船でのコンプライアンス違反、JR貨物などでの輪軸組み



第3部パネルディスカッションで安全確立の必要性を再認識

立て作業に係るデータ改ざん、東北新幹線の列車分離と、その後の対応などについて触れ、これらの事象は世間からの信頼失墜に大きくつながる事案で、責任追及ではなく、原因や背景について検証する必要がある。自分ごととして捉え、再発防止を図る」と呼びかけた。



挨拶するJR連合萩山会長(JR西労組)



第1部で課題提起する広成建設労組中原執行委員長



第2部での基調講演 関西大学安部名誉教授

シンポジウムは3部構成で行われ、第1部では、JR連合からの課題提起として、4単組より各単組での取り組みや課題の提起があり、JR西日本連合の広成建設労組・中原執行委員長が報告した。

第2部では、関西大学安部名誉教授と、大原記念労働科学研究所・松田特別研究員より基調講演を受け、第3部では、「安全確立に向けて、労使でどう取り組むべきか」と題して、パネルディスカッションが行われた。

中バス地本の要求が実現! 制帽脱帽の通年化・乗務サングラス一般路線に拡大

中国JRバス地方本部は、8月30日に開催した定期地本大会において、組合員からの要望が特に強かった、「制帽脱帽に関する申入れ」及び「乗務サングラスの着用に関する申入れ」について、9月20日に会社へ申入れを行い、10月17日に団体交渉を行った。

■運転係の制帽着用の省略について

- すべての運転係(一般、準高速、高速)及び貸切便において、運転席に限定し「制帽着用の省略」をすることができる。
- 瑞風バスにおいては回送時に限り省略
- 2024年11月1日から通年運用とする。

■乗務員の保護メガネ(サングラス)着用について

- 許可する保護メガネの基準
 - ①「運転用」の保護メガネとする。
 - ②視感透過率は30%以上とあること。
 - ③レンズの色はグレー系で、フレームは地味な色とする。(ミラーレンズ禁止)
- 2024年10月18日から着用開始

冬季期末手当 2.6箇月要求へ

中国JRバス地方本部は、10月17日に、2024年度冬季期末手当について「基本給+扶養手当」の2.6箇月分の要求書を提出した。

※議論の詳細は、中バス地本「業務速報」を確認してください。

酒本議員の質疑(抜粋)

◆美祿線について

美祿線の「あり方」を含めて復旧方針を検討するため、JR美祿線利用促進協議会の「復旧検討部会」が初めて開かれた。復旧を優先したい沿線自治体と「鉄道の

◆人口減少対策として進める移住施策

性の多様性に関する理解増進施策の実施

◆良好な生活環境の確保に向けた取り組み

JR西労組議員団会議所属 酒本哲也議員(山口県議)が 代表質問で登壇 美祿線の復旧に向けて質疑を行う

JR西労組議員団会議に所属する酒本哲也議員(山口県議)は、9月24日(火)に開かれた令和6年9月定例会において代表質問を行った。酒本議員は、現在も運転見

れた令和6年9月定例会における代表質問を行った。

合わせが続いている美祿線について、JR西労組と行った現地視察を踏まえ、美祿線の「あり方」を含めて、復旧方針を決定するためにJR美祿線利用促進協議会の「復旧検討部会」の議論状況や、いち早く地域の公共交通を復旧させる観点から、県の考えについて問うた。



激励を行う広島地本、山口第一支部、山口第二支部の仲間

第1回業務部長会議 業務課題について議論を展開

中央本部は、10月10日(木)、西阪急ビル地下会議室において「第1回業務部長会議」を開催し、各地方協議部会、各協議部会、業務種別部会の約40名が出席した。

座長に川端副執行委員長を選出し、冒頭、中央本部を代表して、上村中央執行委員長は、会社の経営状況、労働協約改訂交渉

「将来的に労働人口が減少し、地方において採用が困難となる。その様な将来を見据えながら施策が提案されるが、JR西労組として、安全を確保したうえで、業務課題への対応を行う必要がある」と述べた。